

催吐リスク
最小度
(テモダール: 中等度)
放射線併用あり

投与プロトコール <b>1コース 10週間 1コース</b> 《開始時基準 PS:0~2 年齢:75歳以下》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	—		*1) 4回目のアバスチンは放射線併用療法の最終日に行う。
①	<b>アバスチン: 10mg/kg</b> 生食 100mL	mg	<b>Day1,15, 29,42 (*1)</b>	使用上の注意参照	
プレメディ	アロキシ0.75mg + 生食100mL (*2)		<b>day1</b>	30分	
	5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗薬(内服) (*2)		<b>day2~</b>	経口	
<b>内服</b>	<b>テモダール: 75mg/m<sup>2</sup></b>	mg	<b>Day1~42</b>	分1 空腹時	
<p>*2) テモダールの催吐リスクは中等度であり、放射線併用による催吐リスクも加わるため、消化器症状に応じて、ステロイド及びH<sub>2</sub>ブロッカーの投与を考慮すること。また、day1の前投薬で用いる5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗薬はアロキシを使用すること。(脳神経外科速報Vol.21, 1134-1141, 2011.)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆アバスチンは、初回90分かけて滴下。問題がなければ2回目:60分、3回目以降:30分に時間短縮可能。</li> <li>◆併用療法期間中、放射線療法の初日照射日とアバスチン及びテモダールの初回投与は同日とする。同様に、放射線療法の最終照射日にアバスチン及びテモダールの最終投与を行う。</li> <li>◆放射線を中止した場合は、アバスチン、テモダール共に投与を中止する。</li> <li>◆放射線療法終了日の翌日からアバスチンとテモダールを4週間休薬する。</li> <li>◆放射線併用:total 60Gy</li> </ul>					

佐賀大学医学部附属病院